

こども救急

あわてないで！

こんなとき どうすればいいの？

病院に行く前にお読みください

厚木市立病院の小児科は、休日夜間を含めた24時間体制の二次救急医療機関として、基本的に入院が必要な救急患者さんの診療をおこなっています。

重症救急患者に対応する二次救急を確保するため、すぐに医療機関にかかる必要があるかなど、パンフレットや救急ダイヤルなどを目安に判断をしていただき、じょうずに病院を受診してください。

ちょっとした病気、予防接種、乳幼児健診、育児相談など気軽に相談できる『**かかりつけ医**』をもちましょう。

厚木市立病院 小児科

救急車 119

かながわ救急ダイヤル

神奈川県では、

【夜間にお子さんが体調を崩し、家庭でどのように対処すればよいか困っているとき】
【すぐに医療機関にかかる必要があるか迷っているとき】などについて電話で相談に応じています。

相談時間 毎日 18時～22時

電話番号 市外局番が042以外のプッシュホン回線・携帯番号の方 #8000

市外局番が042・ダイヤル回線・IP電話の方 横浜045-722-8000

相談対応者 専任の看護師など助言はしますが、診察や治療はできません。

厚木市立病院 (046)221-1570

厚木市休日夜間急患診療所(メジカルセンター)

診療科目 内科・小児科

受付時間 月曜日～金曜日 19時～21時30分

土曜 18時～21時30分

日曜・祝日9時～11時30分

14時～16時30分

18時～21時30分

所在地 厚木市水引1-16-45

電話番号 046-297-5199



イラスト わたなべふみ

発熱（38 以上）

発熱
38 以上ある

救急医療機関を受診してください

生後3ヶ月未満です

生後
3ヶ月
以上です

『はい』がひとつ以上あります

次のような症状はありますか？

眠ってばかりで、ぐったりしている（呼びかけてもすぐに寝てしまう）
水分をとるのを嫌がる、おしっこが半日くらい出ていない
下痢や嘔吐を繰り返している
顔色が悪く、あやしても笑わない
けいれんをおこした。
呼吸がおかしい
（不規則、胸がぺこぺこくぼむ、鼻の穴がひくひくする、ぜえぜえする）
熱が出る前に高温・多湿の場所に長くいた（熱中症の可能性あります）



『はい』がありません

夜間・休日であれば翌日などにかかりつけ医や休日夜間診療所を受診してください

ホームケア

- ・熱の出始めはゾクゾクして手足が冷たくなり寒がります。衣類や布団などで暖かくしてあげましょう。熱が高くなり体や手足が熱くなれば、薄着にして涼しくしてあげましょう。
- ・水分補給をこまめにしましょう。（こども用イオン飲料・麦茶・湯冷ましなど）
- ・母乳やミルクは欲しがればあげてください。ただし、無理にあげる必要はありません。
- ・熱が出ているときには、首の周りやわきの下を冷やしてあげましょう。ただし、お子さんが嫌がる場合は無理に冷やす必要はありません。（1歳未満のお子さんは冷やしすぎると低体温を起こすことがあるので、主治医に相談してください）。
- ・熱が上がることで病原体と戦っているため、元気そうで水分もとれるようなら解熱剤は使わないようにしましょう。解熱剤で熱が下がっても、下がっている時間は4～5時間で、時間が過ぎれば熱が上がってきます。解熱剤は病気の原因を治す薬ではありません。

けいれん・ふるえ

次のような症状はありますか？

- けいれんが止まっても、意識が戻らない
(呼びかけたり、体をゆすっても反応をしない)
- くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い
- けいれんが5分以上続く
- けいれんの後で意識が戻らないうちに、またけいれんが起きた
- けいれんが始まり、1時間以上経っても意識がはっきりしない
- けいれんが左右対称ではない
- けいれんのときに嘔吐や失禁がみられた
- 最近頭を激しくぶつけた

『はい』
がありません



『はい』
がひとつ以上あります

救急車を呼びましょう

- 生まれて初めてのけいれんである
- 生後6ヶ月未満である(あるいは6歳以上である)
- けいれんが終わった直後(もしくは、けいれんをしているとき)の体温が38 以下だった
- 半日に2回以上けいれんが起きた
- けいれんがどうか、分からない



『はい』
がひとつ以上
あります

『はい』
がありません

救急医療機関を受診してください

夜間・休日であれば翌日などに
かかりつけ医や休日夜間診療
所を受診してください

ホームケア

けいれん・ひきつけ時の観察ポイント

- ・どんなけいれんが何分続いたのか(目の位置・手足の状態)
ただし、初めての場合は慌ててしまい、何も分からなくても仕方ありません。
- ・けいれんが治まったら、必ず体温を測っておきましょう。
- ・すでに診断(てんかんなど)がついており、今までに何度が起こったことがあるけいれん発作の場合は、おうちで様子を見てかかりつけ医にご相談ください。

けいれん・ひきつけ時の応急ポイント

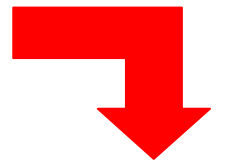
- ・平らなところに寝かせ、顔を横に向けましょう。呼吸がしやすいよう、衣服をゆるめてください。
- ・抱きしめたり、ゆすったり、たたいたり、大声をだしたりしないでください。
- ・口の中に割り箸や指を入れないでください。

はきけ・おうと

次のような症状はありますか？

- 母乳・ミルクのたびに勢いよく吐く
- 10～30分おきに強い腹痛(激しい泣き方)を繰り返しくったりしている
- 強い頭痛がある(不機嫌で甲高い声で泣く)
- うとうとしていたり、ちょっとした刺激に過敏に反応する
- 激しい腹痛を訴える(お腹を曲げるようにして泣く)
- 2回以上吐いて、活気がない
- 血液(赤～茶～黒色)や胆汁(緑色)を吐く
- 不機嫌でぐったりしている
- いつもと違う様子である
- 12時間以上何度も水っぽい下痢をしてぐったりしている
- 半日以上おしっこが出ない
- くちびるが乾いたり、目がくぼんだりしている
- 水分がとれない

『はい』
がひとつ以上
あります



『はい』
がありません

救急医療機関を
受診してください

夜間・休日であれば翌日などに
かかりつけ医や休日夜間診療
所を受診してください



ホームケア

- 赤ちゃんが空気と一緒にミルクをたらっと出すこと(いつ乳)は生理的なもので、様子を見て大丈夫です。
- 激しいせきに伴う嘔吐(おうと)は、嘔吐のあとにけるっとして水分が摂れていれば、嘔吐については様子を見てください。(せきの欄を参照)
- 吐いたあとは、しばらく時間をあけてから少しずつ水分(こども用イオン飲料・麦茶・湯冷ましなど)をあげてください。

せき・ぜいぜいする

次のような症状はありますか？

顔色やくちびるの色が青紫色をしている
あえいでいて、呼吸が苦しそうで顔色が悪いのに【ぜえぜえ】や【ヒューヒュー】などの音がほとんど、あるいは全く聞こえない。
(気管支の中が狭くなりすぎて、呼吸が出来なくなっている状態で、きわめて重症の発作であることがあります)

『はい』
がありません



『はい』
がひとつ以上
あります

救急車を呼びましょう

次のような症状はありますか？

声がかすれ、オットセイや犬の鳴き声(ケンケン)のようなせきをする
【ぜえぜえ】や【ヒューヒュー】というせき込みが激しく、息苦しそうである
呼吸が苦しくて、横になれない、または動けない
水分をとりたがらない

『はい』がありません

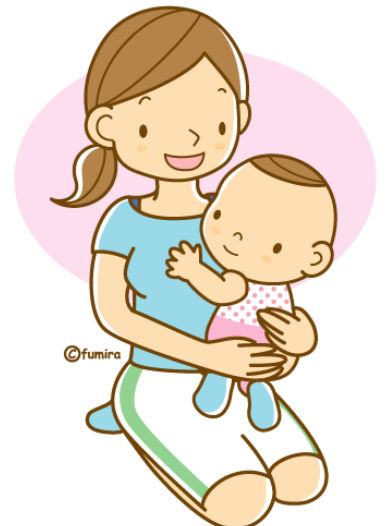
夜間・休日であれば翌日などにかかりつけ医や休日夜間診療所を受診してください

『はい』
がひとつ以上
あります

救急医療機関を受診してください

ホームケア

吐き気・嘔吐(はきけ・おうと)の欄を参照してください。



腹痛

次のような症状はありますか？

血便(赤や黒色)・血尿がある
お腹を激しくぶつけたあとがある
おまた(陰のう・股のつけね)を痛がる
お腹がパンパンにふくらんでいる
強い痛みと発熱がある
激しく泣いてしばらく泣き止むことを繰り返し
ぐったりしている
コーヒーの残りかすのようなものを吐いた
激しい痛みがある(お腹をかがめて激しく泣く)
だんだん痛みが強くなる
不機嫌でぐったりしている

救急医療機関を
受診してください

『はい』がひとつ以上あります

『はい』がありません

夜間・休日であれば翌日など
にかかりつけ医や休日夜間
診療所を受診してください

ホームケア

・いつもと違う便は、診断の役に立ちますので受診のときに持参してください。

下痢

次のような症状はありますか？

(3ヶ月未満の赤ちゃんで)38 以上の発熱がある
(3ヶ月未満の赤ちゃんで)嘔吐がある
元気がなくぐったりしている
血便(赤や黒色)が出る
強い腹痛がある(お腹をかがめて激しく泣く)
半日以上おしっこが出ない
くちびるが乾いたり目がくぼんだりしている
水分がとれない

救急医療機関を
受診してください

『はい』がひとつ以上あります

『はい』がありません

夜間・休日であれば翌日など
にかかりつけ医や休日夜間
診療所を受診してください

ホームケア

・いつもと違う便は、診断の役に立ちますので
受診のときに持参してください。
・おうちで様子を見るときは、こども用イオン飲
料などで水分・ミネラルを補給してください。

